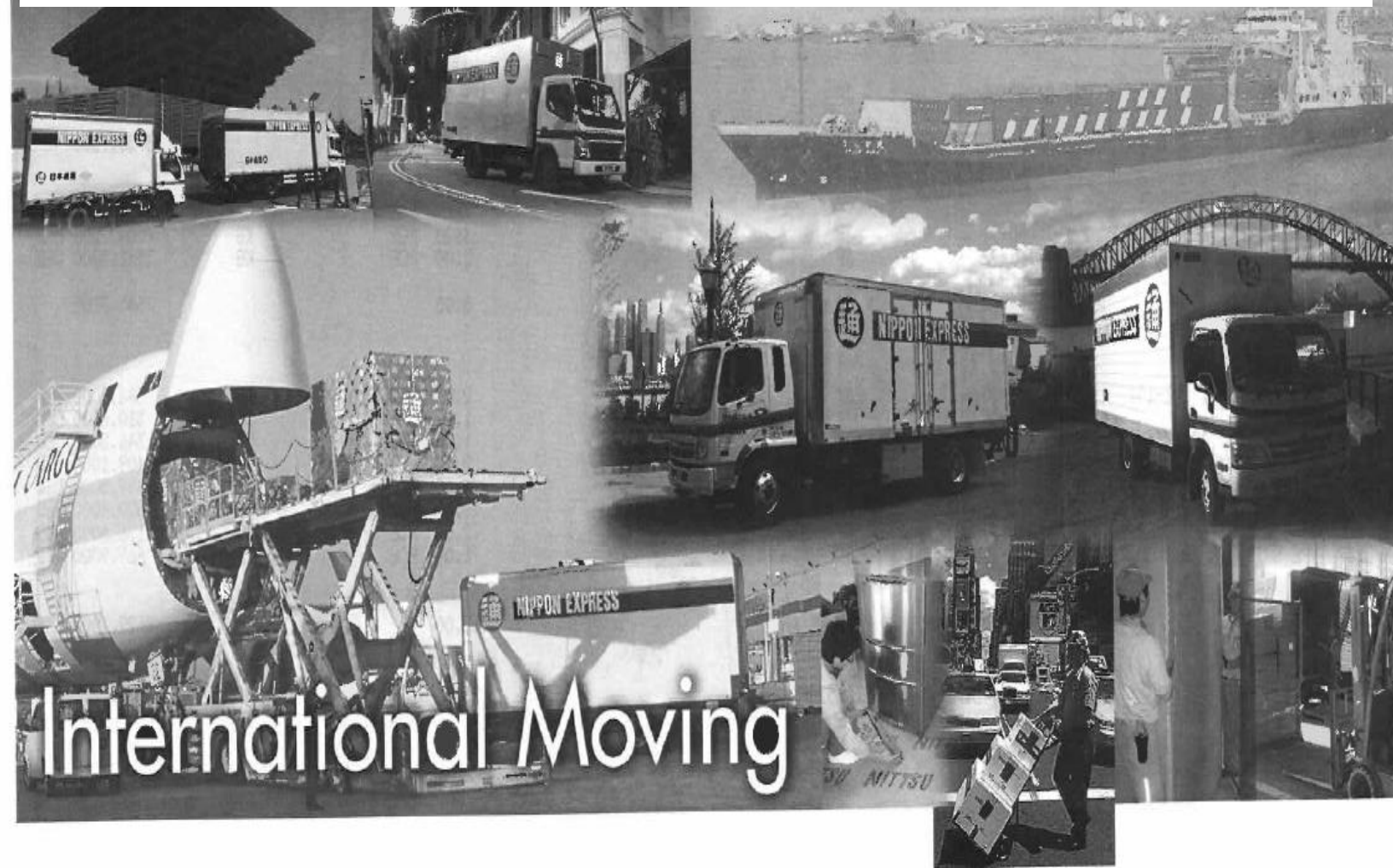


管理運営委員会便り 3月号
2021年3月6日発行
ワシントン日本語学校
管理運営委員会 広報部
koho@wjls.org

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい



海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで

～ 卒業生特集 ～

感謝の気持ち（小学部卒業生 小寺聖蘭）

私が補習校に心から感謝している3つの理由がある。第一に日本語が完璧に話せるようになったおかげで、将来日本で働くという夢に一步近づいた。

2つ目に日本の小学校の擬似体験ができたことだ。毎週大好きな日本の小学校で体験入学をしているようで、楽しい思い出となった。

最後に、一生仲良くしたい親友ができたことだ。辛い勉強を乗り越えられたのは友達のおかげだ。このような経験をさせてくれた先生方と両親に感謝している。



卒業に寄せて（小学部卒業生 カヴァロ淳之介）



母に「日本語学校に行きたい?」と聞かれたのは、6歳の時。入学前に授業見学し、張り切って「うん」と答えた時に思い描いていた日本語学校と、実際の学校生活には大きな違いがありました。当時、僕は楽しそうな授業にしか頭が回らず、宿題の事はすっかり忘れてたのだと思います。

3年生の時にサッカー部ができ、すぐに参加しました。トラベルチームとは違って、日本語学校では学年やクラスが違ってても放課後に集まり、試合中、相手チームにはわからない言語で声をかけ合えるという、特別な楽しさがありました。

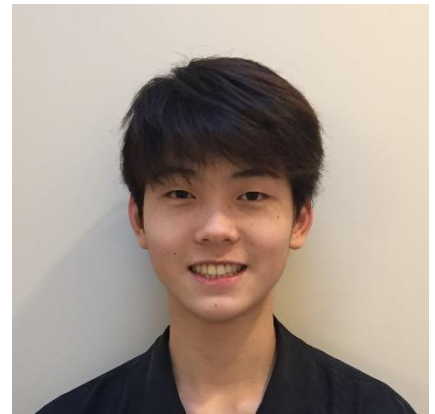
この6年間いろんな友達に出会い、日本語も上達しました。宿題が辛い時も、授業に集中できない時もありましたが、頑張って通学してよかったと思います。本当は中学部で運動会の応援団に入ったり、サッカー部も続けたかったですが、僕は日本語学校を卒業します。

私にとっての宝物（中学部卒業生 山崎雪舟）

幼稚部に入園してから10年がすぎ、中学卒業を迎えました。ここまで頑張れたのは見守り、指導して下さった先生方や両親のおかげです。

厳しいことを言われ悲しくなった時も、また勝負に負けて悔し泣きした日もありました。汗をかいた運動会、一緒に食べたお弁当など日本語学校で得たかけがえのない時間は私にとっての宝物です。

在校生の皆さんも日本語学校生活を楽しんでください。ありがとうございます。



日本語学校、ありがとう（中学部卒業生 加納海青）



日本語学校に通った9年間は、本当にあっという間だった。特に、今年度はオンラインに変わり、さらに時間が過ぎるのを早く感じた。

この9年、楽しい事ばかりではなかった。毎週宿題に追われ、何度、退学しようと思ったか。その度に、両親、先生、友達に支えられてきた。

今は、日本語学校にずっと通い続けてきた自分に大きな自信を持つことができた。そして「継続は力なり」の言葉通り、あきらめずに続けることの大切さを学んだ。これは、今後の僕の人生に大きな影響を与える事になるだろう。いろんなことにチャレンジをし、その途中で行き詰まることがあっても、簡単に諦めず、何事もやり遂げる忍耐力を培うことができた。日本語学校、ありがとう。

9年間ありがとう（中学部卒業生 中島健太郎）

僕は漢字が苦手だ。だから日本語の宿題は苦労した。でも、毎年夏に日本へ行って、体験入学するのは大好きだった。日本が大好きだから、漢字や宿題が苦手でもストレスに感じることはあったけど、日本語学校へ通うことは僕には当たり前と思っていた。幼稚園から通っていた日本語学校だが、ここまで決して平坦な道ではなかった。中学に入るとすぐに授業内容が難しくなり、宿題も増えた。現地校も急に忙しくなった。もうここで日本語学校を辞めるしかないと思った。でも先生方や友達に支えられ励まされて、卒業まで頑張ってたどり着くことができた。お世話になった先生方や一緒に学んだ友達には心より感謝している。ありがとうございました。



みんな、ありがとう！（中学部卒業生 佐藤ジュリアン）



幼稚園から通ったこの学校。これが私の最後の日本語学校です。本当のことを言うと、最初のころは学校が嫌いでした。たくさん宿題やテストもあったし、土曜日にゆっくりしたかったからです。時々宿題のことで母と言い合いや喧嘩もしました。でも、あきらめないでがんばってみたら、だんだん楽しくなっていました。たくさん友達ができて、先生の助けでクラスももっと分かるようになりました。日本の歴史や俳句はおもしろかったし、運動会も楽しかったです。あの時あきらめないでがんばって、よかったです。ここまで続けてこられたのは友達、先生、両親のおかげです。本当にありがとうございました！

日本語学校で得た心の繋がり（高等部卒業生 前山春奈）

約4年通った日本語学校を卒業となり、これまでの学校生活が走馬灯のようによみがえります。たわいのない会話や友達との関わりは、とても温かい大切な思い出として私の心に残っています。

高校2年生として最も思い出に残っていることは生徒会です。今回は特別に同学年に5人の生徒会員、私含め2人の生徒会長がいたことにより、気軽に毎週ミーティングを行いました。このコロナ禍で全校生徒をどう鼓舞するべきか5人で何時間も話し合い、例年とは違うオンラインで開催できる複数のイベントを開くことができました。

一年間のオンライン授業によって人との新しい形の繋がり方に慣れました。この友情の繋がり、これからの時代を違う場所で生きていく私たちの心の支えになり自信を与えてくれます。私は日本語学校で得た心の和を大切に、自信をもって人生を着実に歩んでいきたいと思います。



【予告】特別総会は4月17日です

2021年度の特別総会が4月17日（土）に開催されます。4月に詳細が決まり次第、保護者の皆様へご連絡いたします。今回の総会は昨年と同様、管理運営委員会で議論されている重点事項を中心に報告・発表を行います。また、2021年度予算の審議も行われます。総会は皆様のご意見やご提案をいただく貴重な機会です。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。総会についてのご質問は uneiiinkai@wjls.org までお寄せください。

【募集】次期管理運営委員募集

現管理運営委員の退任に伴い、2021年4月から副委員長、教育人事および財務部員として以下の業務を担当して下さる候補者を保護者の皆さんから募集いたしますので、奮ってご応募ください。立候補される方は管理運営委員会 (uneiiinkai@wjls.org) までメールでご連絡ください。

＜副委員長＞ 毎月開催される管理運営委員会、その他会合の議題とりまとめ、司会進行。各種面接など。

＜教育人事部＞ 新規教員採用面接、全校アンケートによる保護者や教職員からの意見収集、家庭学習勉強会の企画、新入学、新入園児童の面接など。

＜財務部＞ 予算案の作成、予算執行状況の定期確認、ファンドレイズ活動の実施およびサポートなど



委員長からの報告

ようやくコロナの第3波が収束し始め、現地校では対面授業が再開されつつあります。今年度はコロナ禍が長期化する中でオンライン授業を続け、卒業式もオンライン形式で行うという、初めてづくしの一年になりました。保護者の皆様の「アメリカで日本語を学ばせる」という強い意思と覚悟に支えられて続けていくことができました。改めてご協力ありがとうございました。

さて、2月には森校長による最後の保護者説明会にて「国語力向上ベーシックプラン」を発表しました。本提案は現場で教える教員の意見をまとめ、日本語学校の中長期的教育方針の土台となる重要な内容です。本校には様々な背景やニーズのある家庭が混在していますが、それによって区別するのではなく、学年ごとに共通の「到達目標」を設定し、「共に働き、学び合う（共働学習）」ことによって、生徒の国語力を向上させ、補習校としての目的を果たしていくための計画です。しかしながら詳細を詰めていくのはこれからですので、保護者の皆様のご意見をアンケートを通して是非お聞かせください。

アマゾン・スマイルをご利用ください

[アマゾン・スマイル](#)をご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の0.5%が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。



寄付にご協力ください！

Donate



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの[「寄付概要」ページ](#)にある左の画像をクリックしてください。

委員長： 松井俊久
副委員長： 米下和宏
総務部： 渡辺政志（部長）・金杉沙織・ジャコブソン彩子・辻川扶紀・邊田寿俊
財務部： 野崎仁宏（部長）・大塚晴久
教育人事部： ベイカー浩子（部長）・小野莉彩佳・加藤智之・金城由佳子・寺林武
広報部： ミトリック理香（部長）・小寺友美
学年代表： 大根陽一郎（低学年代表）・森山妙子（中学年代表）・バンダイクゆり（高学年代表）